

山岳遭難発生状況

(令和8年1月1日～令和8年3月22日)
地域部 山岳安全対策課

1 山岳遭難発生状況（暫定値）（令和7年数値は1月1日からの同期間数値）

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
令和8年	46	9	1	9	36	55
令和7年	42	9	1	15	26	51
前年同期比	4	0	0	-6	10	4

2 山域別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
北ア	槍穂高	0	0.0%	0	0	0	0
	後立山	17	37.0%	5	1	3	13
	その他	0	0.0%	0	0	0	0
計	17	37.0%	5	1	3	13	22
中央アルプス	5	10.9%	0	0	0	6	6
南アルプス	0	0.0%	0	0	0	0	0
八ヶ岳連峰	11	23.9%	3	0	3	7	13
その他の山岳	13	28.3%	1	0	3	10	14
計	46		9	1	9	36	55

3 態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	8	17.4%	2	0	6	0	8
転倒	2	4.3%	0	0	2	0	2
病気	5	10.9%	3	0	0	2	5
道迷い	11	23.9%	0	0	0	15	15
落石	0	0.0%	0	0	0	0	0
雪崩	2	4.3%	1	1	0	0	2
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	5	10.9%	1	0	0	4	5
不明・他	13	28.3%	2	0	1	15	18
計	46		9	1	9	36	55

4 男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	5	5		0	0	0	2	2		7	
20代	1	0	1	11	13	22	0	0	0	4	4	8	17	30
30代	1	0	0	3	4	55.0%	0	1	0	1	2	53.3%	6	54.5%
40代	3	0	2	1	6	12	0	0	0	0	0	3	6	15
50代	2	0	1	3	6	30.0%	0	0	1	2	3	20.0%	9	27.3%
60代	1	0	2	3	6	6	1	0	2	0	3	4	9	10
70以上	0	0	0	0	0	15.0%	0	0	0	1	1	26.7%	1	18.2%
計	8	0	6	26	40		1	1	3	10	15		55	
比率	72.7%						27.3%							

(※ 比率の計は、小数点の調整上、一致しない場合あり。)

先週の発生（3/16～3/22）

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
3月16日	鍋倉山	男	67	負傷	転倒	単独で鍋倉山から滑走中、転倒、負傷
3月21日	中央アルプス 木曾駒ヶ岳	男	14	無事救出	道迷い	単独で桂木場登山口から入山し、木曾駒ヶ岳山頂付近で道に迷い、行動不能
3月22日	北アルプス 鹿島槍ヶ岳	男	64	負傷	滑落	2人パーティで天狗尾根を登山中、バランスを崩して、滑落、負傷
3月22日	小谷村大字 中小谷地籍唐松沢	男	36	無事救出	道迷い	2人パーティでバックカントリーを滑走中、道に迷い、行動不能
		女	35	無事救出	道迷い	

山岳安全対策課からのアドバイス

先週県内では、BC遭難2件を含む、4件の山岳遭難が発生しました。

うち2件は道迷いによる遭難です。道迷い遭難は、入山前に机上での登山（登山計画時の地図上での登山）や、行動中に現在地や進むべき地形の確認など、こまめに紙地図や登山地図アプリ等を活用することで、道迷いのリスクを軽減することができます。

紙地図やコンパスを使った現在地の把握には慣れと経験が必要ですが、スマートフォンの登山地図アプリなどを活用すると、歩いた軌跡や現在地を簡単に把握することができます。しかし、スマートフォンはバッテリー残量がなければ使えませんので、必ずモバイルバッテリーを携行して、バッテリー対策もぬかりなく。登山地図アプリを使う際、登山中にスマートフォンのバッテリー消費を抑えるため、機内モードにされる方がいますが、位置情報の共有ができなくなるため、登山中は機内モードにせず、常に通信を確保した状態で行動してください。

道迷い遭難は、登山者（BC含む）自身が、行動中、現在地を確認し注意することで防げる遭難の一つですので、皆さんも対策をお願いします。